

詮索好き旅行者の私が、これは中国的で面白いぞと感じた風景をご紹介します。中国人や、中国通の人たちには当たり前の景色だとは思いますが。



**食器消毒サービス**：以前（今でもか？）中国のレストランで、食器が配られると、食器に付着した水滴や、汚れを拭き取るため、茶の湯の作法のように紙で食器を回して拭きました。近年は上の写真のように箸と食器を包んだ物が出されます。これは全中国的なのでしょうか？



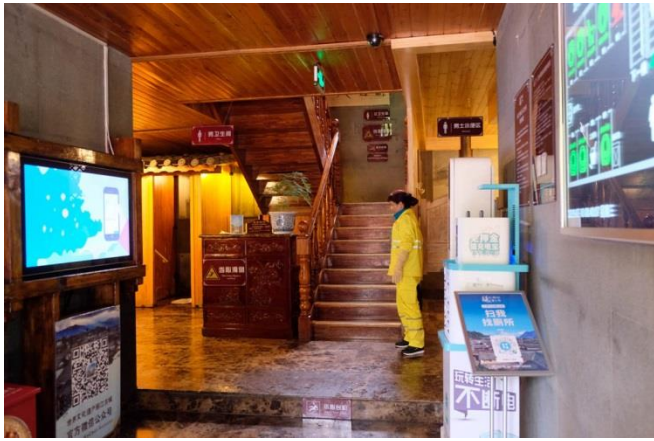
**餐具消毒服務**：左の梱包を広げた紙です。上部の「緑芝宝」はブランド名。「食器洗い配送工場」ともいえるしくみのようです。ネットで調べた職種では「消毒櫃公司」と書いてありました。衛生的見地から政府指導でこのような仕組みができたようです。経費はいくらかかるのでしょうか？ お店の人がどう思っているかは知りたいところです。「保証期間 10 日間」とはおもしろいですね。



**水カマニ車**：これは、9月号の表紙写真を撮った「梅里雪山」の麓の村で見た「水カマニ車」。写真ではよく解りませんが、勢いよくクルクルと回っていました。水力なら発電をした方が良く思っているのは、罰当たりな私だけでしょうか？ 水の豊富な地方なら同様なマニ車がほかでもありそうです。

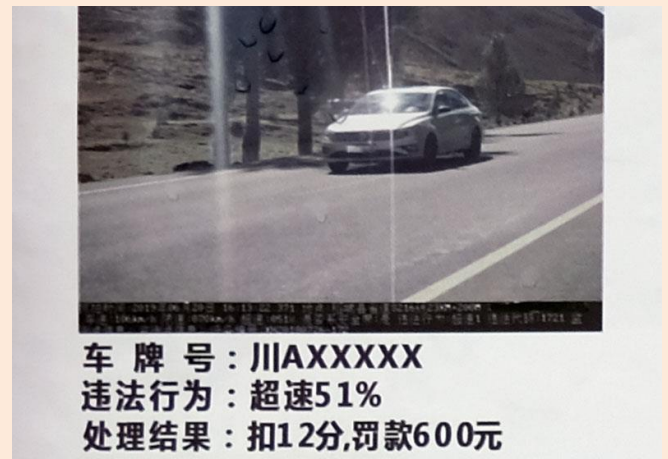


**カウンター付トイレ**：雲南省の徳欽にある「梅里雪山」展望台のトイレ。入口すぐに男女に別れるホールが有り、その奥に電光式の配置図。右端にはなぜか入場者のカウント覧がある。何か意味があるのか？ 17時現在、男70、女31人だとさ。個室数が男女同じはなぜ？ 中国ではそうなの？ 個室に監視カメラはがないとよいですね。



■中国一綺麗なトイレに「蜘蛛」が：またまたトイレの話ですみません。観光地、麗江「古城」にある公衆トイレです。私は中国一綺麗なトイレと感じました。どこもピカピカで五つ星のホテルの並みです。黄色の服の女性は清掃員で、他に数人いました。雨の日だったのでカッパを着ています。上の写真は入口を入ったところで、2階は女性用になっていました。男性用は階段の手前を右に曲

がります。私が入ってみると「アサガオ」が左右の壁に整然と並んで、床の水濡れも有りません。ここが中国かと信じられません。いざ、ここに来た目的を遂げようとしてアサガオに向かうと違和感があります。「蜘蛛」がいるではありませんか！ぎょつとしました。顔を近づけても動きません。もしかしてと、他の並んだアサガオを見れば全ての内側に蜘蛛がいました。アサガオの模様でした。



■「晒し車」看板：上図は本号表紙と同じ「稻城」の公共広場にあった看板です。速度違反で捕まえた車を掲示しています。「釣果」を誇るかのようでおかしいです。表題が「超速違法曝光欄」とあり、晒し車ですね。右上図は赤線部分の拡大です。「車牌号」とはナンバーのことで、写真ではぼかしていました。「罰款」は罰金か……と中国語の勉強になりました。「扣12分」はお説教の経過時間でしょうか？他の大部分の車は超速20%程度

で罰金は100元、「扣3分」がほとんどでした。写真の背景が同じなのでここに「ねずみ取り」があるようです。「罰款」600元は2台だけでした。

隣に同様の看板があって、「乱停乱放違法曝光欄」書いてありました。駐車違反の事のように。写真を見ると路上駐車がほとんどで、道路端にきれいに駐車しても「乱停乱放」になってしまうようです。罰金は100元でした。

(いずれも2019年7月、四川・雲南省で撮影)